

鳥取県における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	178,367,824	69,611,068	247,978,892	76%	今後の森林経営管理制度に基づく森林整備や皆伐再造林の支援、林業・木材産業関係の人材育成に関する支援、県産材利用拡大に向けた支援等に充てる。
譲与額（円）	254,946,000	69,350,000	324,296,000		

■令和5年度の具体的な活用状況

分野	事業名	事業費（円）		事業内容
			うち森林環境譲与税	
市町村の支援	新たな森林管理システム推進事業	7,500,000	7,500,000	森林経営管理制度を活用した中長期的な森林整備計画を各市町村の現況に応じてとりまとめた技術的な助言資料（市町村森林整備カルテ）を作成し、各市町村に配布した。 ※「鳥取県森林経営管理支援センター」（鳥取県造林公社）に委託。
	鳥取県版緑の雇用支援事業（うち市町村担当者向け研修事業）	1,643,372	1,643,372	森林経営管理制度に係る市町村担当者向けの研修会（初任者および実務経験者それぞれに対応した内容）を開催し、制度の円滑な実施を支援した。
森林整備の支援等	スマート林業実践事業	18,876,123	16,492,323	・林業事業体に対して林業DXの基本的な考え方や重要性等を学ぶリスキリング講座を開催し、戦略的・総合的な視点を持った本県林業DXの中核を担う人材の育成に繋げた（受講生：県内林業事業体19名） ・新しい森林クラウドシステムの運用を開始するとともに、森林情報をデジタル化したデータを集約しシステムに搭載したこと、県、市町村、林業事業体が森林情報を共有・把握し、計画策定や行政手続き等の更なる効率化に繋がった。
	特定母樹早期供給体制構築事業	2,968,900	2,968,900	鳥取県山林樹苗協同組合の組合員に対し、特定母樹、特定苗木の育苗・生産に必要な技術指導を実施した。
	目指せ！皆伐再造林150haプロジェクト	938,053	938,053	各種ノウサギ被害対策を実施検証し、効果や課題等を取りまとめた。
	防災・減災のための事前伐採・倒木緊急除去推進事業	40,729,213	13,915,313	台風や大雪時の倒木に起因する停電・通信障害や孤立集落の発生を未然に防止するため、森林内等における倒木被害の恐れがある樹木の事前伐採を推進した。 また、河川や民間管理林道等へ倒伏した被害木について、公共施設等の機能に支障をきたすことがないよう、森林の適正管理及び防災・減災の観点から緊急的撤去を行った。
人材の育成・担い手の確保	未来の林業を担う即戦力人材確保育成事業	7,591,273	7,591,273	・第3回日本伐木チャンピオンシップin鳥取の開催を支援し、伐木等の技術や安全作業意識の向上を図った。（参加者：選手91名、来場者延べ1,800名） ・にちなん中国山地林業アカデミー研修生7名に対して就業に必要な資格取得等を支援し、即戦力となる人材の確保・育成に繋がった。
	林業労働安全緊急対策事業	2,290,014	2,290,014	・県内の24事業体に対して防護ズボン151着・防護ブーツ77足、ヘルメット45個等の安全装備の導入を支援し、林業現場の労働安全衛生環境の整備に繋がった。 ・10事業体26名が安全研修を受講し、安全意識の向上に繋がった。
	木材産業人材育成推進事業	2,025,693	2,025,693	木材・木製品等製造業の業界全体として人材確保及び事業体の意識改革、就業者の資格取得を支援することにより、木材産業の振興を図った。
木材利用・普及啓発	とっとりウッドチェンジ戦略事業	6,634,509	5,130,400	・県内4プレカット工場に部位毎の木材利用状況調査を実施した。 ・人工乾燥と天然乾燥を組み合わせた実証試験を県内3社で実施した。
	非住宅木材活用推進事業	14,192,783	6,073,517	県産材を活用した非住宅木造建築物に支援を行った。
	「木づかいの国とっとり」木育・県産材活用推進事業	4,365,579	1,020,800	県民の「木を使って森を育てる」という意識を育てるため、木の良さや利用の意義を学ぶ「木育」に取り組むとともに、県産材の需要拡大を図り、「木づかいの国とっとり」を推進した（木づかいの国とっとり）を具現化するための課題・解決策の検討、県内事業体の取組や森林認証制度の普及啓発、普及啓発に係る経費、認証取得等に係る経費を支援、高校生と連携した県産材製品カタログの改訂等）。
	県産材流通イノベーション推進事業	4,989,015	2,021,410	ICTを活用した木材流通システムのプラットフォーム構築や、林地残材を含む皆伐材の円滑な集荷に向けた環境整備を行った。また、県産材の生産・流通状況の調査や建築物の木造化、県産材活用を推進するためのアドバイザー設置・派遣等に必要経費を支援する。さらに、製材品の新たな生産技術にチャレンジするために必要な資機材の購入経費を支援した。
合計		114,744,527	69,611,068	

■今後の実施計画

①新たな森林管理システム推進事業

令和5年度に作成した「市町村森林整備カルテ」に基づく取組のフォローアップ、市町村業務に関する助言や進捗把握、県・市町村・森林組合等との連絡調整等、市町村への伴走支援を行う（森林経営管理支援センター（県造林公社）に委託）。また、森林経営管理制度に係る市町村担当者向けの研修会を開催する（鳥取県森林組合連合会に委託）。

②とっとりウッドチェンジ戦略事業

新型コロナウイルス感染拡大に端を発した木材価格高騰と品不足（ウッドショック）や、今後の森林施策で増加が見込まれるA材の供給を、外材や他県産材から県産材への転換（ウッドチェンジ）を進める絶好の機会ととらえ、製材、特に乾燥材の生産性向上や品質の担保・向上、安定供給体制構築等を目指す意欲的な県内企業の取り組みを支援する。